



君津市
Kimitsu City

報告事項2
資料5

PHRを活用した健康増進地域を目指して

令和5年7月26日
君津市



国の方向性

1

経済財政運営と改革の基本方針2023【令和5年6月16日】
加速する新しい資本主義～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～

第4章 中長期の経済財政運営

2. 持続可能な社会保障制度の構築

(社会保障分野における経済・財政一体改革の強化・推進)

レセプト・特定健診情報等に加え、介護保険、母子保健、予防接種、電子処方箋、電子カルテ等の医療介護全般にわたる情報を共有・交換できる「全国医療情報プラットフォーム」の創設及び電子カルテ情報の標準化等を進めるとともに、**PHRとして本人が検査結果等を確認し、自らの健康づくりに活用できる仕組みを整備**する。

3

令和4年6月 PHRサービス事業協会（仮称） 令和5年度中に団体設立予定

■ 設立宣言参加15社

(株) Welby	エーザイ(株)	(株)エムティーアイ	オムロン ヘルスケア(株)
KDDI (株)	塩野義製薬(株)	シミックホールディングス (株)	住友生命保険相互会社
SOMPOホールディングス (株)	TIS (株)	テルモ(株)	日本電信電話(株)
(株) FiNC Technologies	富士通(株)	(株) MICIN	

2

医師の働き方改革
【令和6年4月から働き方改革の必要性】

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律の概要 令和3年5月28日 公布

改正の趣旨

良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進する観点から、医師の働き方改革、各医療関係職種専門性の活用、地域の実情に応じた医療提供体制の確保を進めるため、長時間労働の医師に対し医療機関が講ずべき健康確保措置等の整備や地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組に対する支援の強化等の措置を講ずる。

改正の概要

<1. 医師の働き方改革>

長時間労働の医師の労働時間短縮及び健康確保のための措置の整備等（医療法）【令和6年4月1日に向け段階的に施行】

医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始（令和6年4月1日）に向け、次の措置を講じる。

- ・勤務する医師が長時間労働となる医療機関における医師労働時間短縮計画の作成
- ・地域医療の確保や集中的な研修実施の観点から、やむを得ず高い上限時間を適用する医療機関を都道府県知事が指定する制度の創設
- ・当該医療機関における健康確保措置（面接指導、連続勤務時間制限、勤務間インターバル規制等）の実施 等





官民連携支援窓口「K-SIP」

※ K-SIP : Kimitsu Social Innovation Platform の頭文字



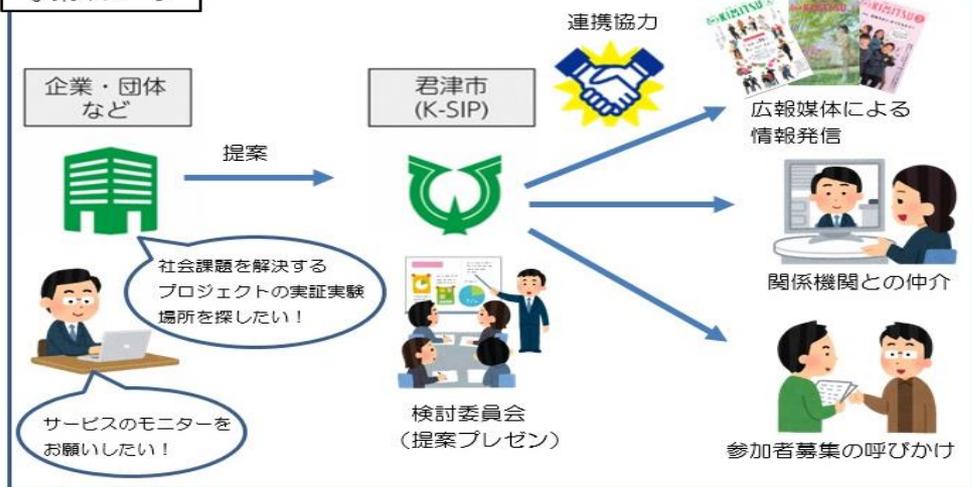
きみびん

令和4年度のK-SIPの第一回公募に、(株)TISが応募・採択され、PHRを活用した医療連携について実証を行い、令和5年度はデジタル田園都市国家構想交付金などを活用し、市の事業として普及啓発等を実施。

【事業概要】

君津市内において、事業の実証実験やサービスの社会実装に向けたプロジェクトを行う企業や団体を募集し、採択された企業に対して、市が事業の実現に向けた支援を行う。それにより、行政課題や地域課題の解決を図り、地方創生や市民サービスの向上につなげる。

事業イメージ



【これまでの採択一覧】君津市HPより抜粋

NO	提案企業	テーマ	事業内容	市の支援
1	TIS株式会社<外部リンク>	PHRを活用した「君津（医療圏）モデル」実装に循環型地域医療連携システムの実現事業	同社が開発する地域医療情報連携サービス「ヘルスケアパスポート」による個人の医療情報の一元化、質の高い医療を受けるための情報連携の推進、健康増進活動への参画促進等に関する実証実験	関係機関等との調整、情報発信等
2	合同会社SleekW ater<外部リンク>	ケーブル水上スキー実証実験・ケーブルパーク構築プロジェクト	水上スポーツのためのスキーリゾートであるケーブルパークの建設、運営するための実証実験	事業実施に向けた情報交換等
3	シーキューブ株式会社<外部リンク>	検知式発光横断支援装置「トライライトポスト」による夜間事故防止対策の実証実験	薄暮や夜間における信号のない横断歩道の安全横断を支援する製品として開発された、検知式発光横断支援装置「トライライトポスト」の効果検証	関係機関との調整、事業実施に向けた情報交換
4	株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所 (保育テックチーム)<外部リンク>	AIを活用した保育の実践活動の振り返りを支援する保育テックアプリの実証実験	保育園の現場を記録した映像からAIで保育の質を自動評価し、保育活動に対する振り返りによる効果を向上させる保育テックアプリの実証実験	関係機関との調整、情報発信、職員との意見交換
5	ZeroToInfinty株式会社<外部リンク>	AIカメラ「害獣対策センサー」による鳥害対策の実証実験	害獣対策による農作物被害対策として、害獣検知、赤外線・熱源写真、忌避対策、出現場所の通知やマッピング化等を自動で行うAIカメラ「害獣対策センサー」の実証実験	実証場所や関係機関等との調整

ヘルスケアパスポートの導入事例のご紹介

2023.7

TIS株式会社

DXビジネスユニット

ヘルスケアサービスユニット ヘルスケアサービス企画部

TIS（株）について

TIS株式会社 (TIS Inc.)

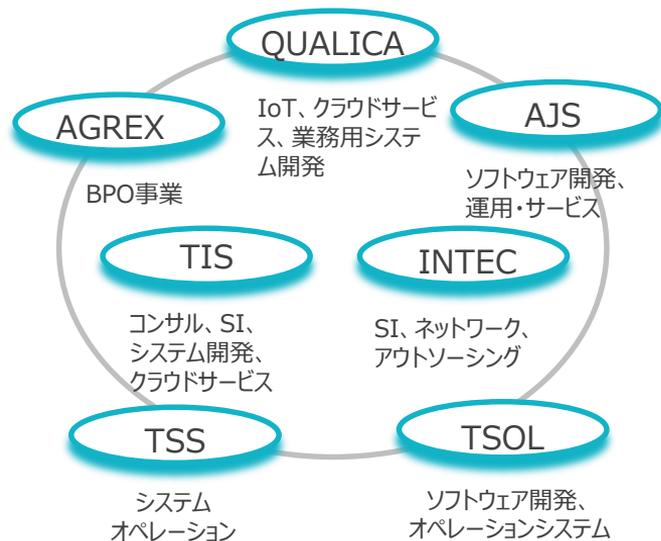
- | | | | |
|--------------|---|------------------|--|
| ◆ 創 業 | 1971年4月28日 | ◆ 売 上 高 | 連結:508,400百万円
単体:238,140百万円
(2023年3月期) |
| ◆ 設 立 | 2008年4月1日 | ◆ 主要取引銀行 | 三菱UFJ銀行
三菱UFJ信託銀行 |
| ◆ 資本金 | 100億円 | ◆ 上 場 市 場 | 東証プライム市場 (3626) |
| ◆ 従業員 | 連結:21,946名
単体:5,695名
(2023年3月31日現在) | | |



TISインテックグループについて

TISインテックグループは総合ITサービス企業として、お客様のデジタルビジネス変革に貢献します。
さらには自らデジタルの力でお客様とともに社会課題に貢献できる企業を目指します。

TISインテックグループ主要会社



テレビCM「ITで、社会の願い叶えよう。」



CM動画> https://www.tis.co.jp/group_brand/

TISインテックグループの強み

TISが金融業界で培ってきたセキュリティ技術およびサービスプラットフォームでの実績とインテックにおける医療業界での経験を活かして、機微な健康・医療情報を安心・安全にご利用いただけるサービスを提供します。

TIS×金融

安全・安心な
クレジットカード決済を支援
クレジットカード
基幹システム開発実績

国内市場シェア

約48%

(取引のある顧客のクレジット
年間取扱高ベース)

セキュリティの強み

TIS×金融

国内のキャッシュレス決済を推進
ブランドデビットカード
関連サービス提供/システム開発実績

国内市場シェア

約80%

プラットフォームの強み

インテック×医療

医療業界向けITソリューション
病院向けシステム構築・運用
での実績

50年以上

医療のIT化を支援

医療業界での長年の経験

PHRサービスの普及政策の加速

TIS、PHRサービス産業の健全な発展を通じて国民の健康増進や豊かで幸福な生活(Well-being)への貢献を目指す「PHRサービス事業協会」に参画

2022年6月17日
TIS株式会社

関連するサービスへ

TISインテックグループのTIS株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:岡本 安史、以下:TIS)は、PHRサービス産業の健全な発展を通じて国民の健康増進や豊かで幸福な生活(Well-being)に貢献することを目的とする「PHRサービス事業協会(仮称)」の設立検討に参画することを発表します。

「PHRサービス事業協会(仮称)」は、国民が安全かつ簡便にPHRを活用して、個人に最適化された医療やヘルスケアサービスを受用できるよう、情報の可視化や行動変容、医療従事者との共有等の商品・サービスを提供するPHRサービス事業者の団体です。

本協会は、PHR活用に向け以下の活動に取り組んでいます。

- ① PHRサービス産業の協調と競争を通じた持続的な発展と国際競争力の確立
- ② デジタル技術と科学的知見を活かした利便性と信頼性の高い顧客価値の創出
- ③ 幅広い業種によるPHRサービス産業への参画を通じたオープンイノベーションの促進

TISは事業を通じて解決をめざす社会課題の一つとして「健康問題」を掲げ、医療機関を中心に管理されている医療健康データを、健康増進に活用できるようにPHRとして整備するヘルスケアプラットフォーム を提供しています。健康問題の解決に重要なPHRの整備と活用に際しては、ルールや標準化などのガイドラインに準拠する必要があります。TISはヘルスケアプラットフォーム を通じて培ったノウハウとデジタル技術を活かし、データ利活用のためのガイドライン整備に貢献するとともに、PHRサービス事業者の1社として標準化を促進する役割を担う事で、PHRサービス産業の発展に貢献していきます。

※PHR(Personal Health Record):生涯にわたる個人の保健医療情報(健診(検診)情報、予防接種歴、薬剤情報、検査結果等)診療関連情報及び個人が自ら日々測定するバイタル等)

PHRサービス事業協会(仮称) PHR Service Business Association (Tentative Name)



お知らせ

団体設立ステートメント

団体設立準備企業

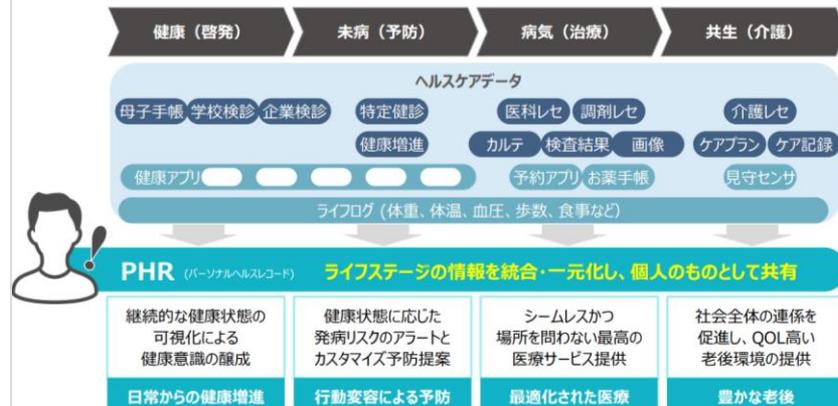
ご挨拶

「PHRサービス事業協会(仮称)」(以下、本協会)の設立宣言参加15社は、「情報の可視化や行動変容、医療従事者との共有等の商品・サービスを提供するPHRサービス事業者による団体」の設立に向けて、2022年6月の設立宣言時「団体設立ステートメント」等を公表しました。

本協会は、PHRサービス事業に係る業界自主ルールの策定と、ステークホルダーとの対話と政策提言によってこれらの実効性を高めていくことを最優先に活動することで、「団体設立ステートメント」の実現を目指して所存です。



データを一元化し、個人のものとして共有することで、全てのライフステージで“いきいき”とした生活をサポートします。



『ヘルスケアパスポート』について

市民個人に紐づく健康・医療情報をPHRとして管理し共有できるサービスです 千葉大学医学部附属病院・患者支援部様等との協業により運営しています

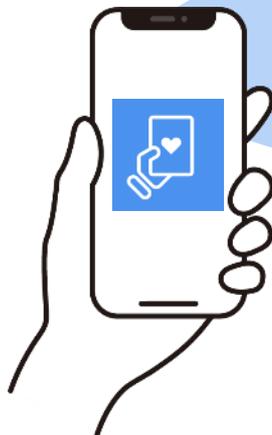


最新のデジタル技術による
プラットフォームの構築



千葉大学医学部附属病院

地域医療情報基盤の実績
医療分野の知見の提供



Personal Health Record

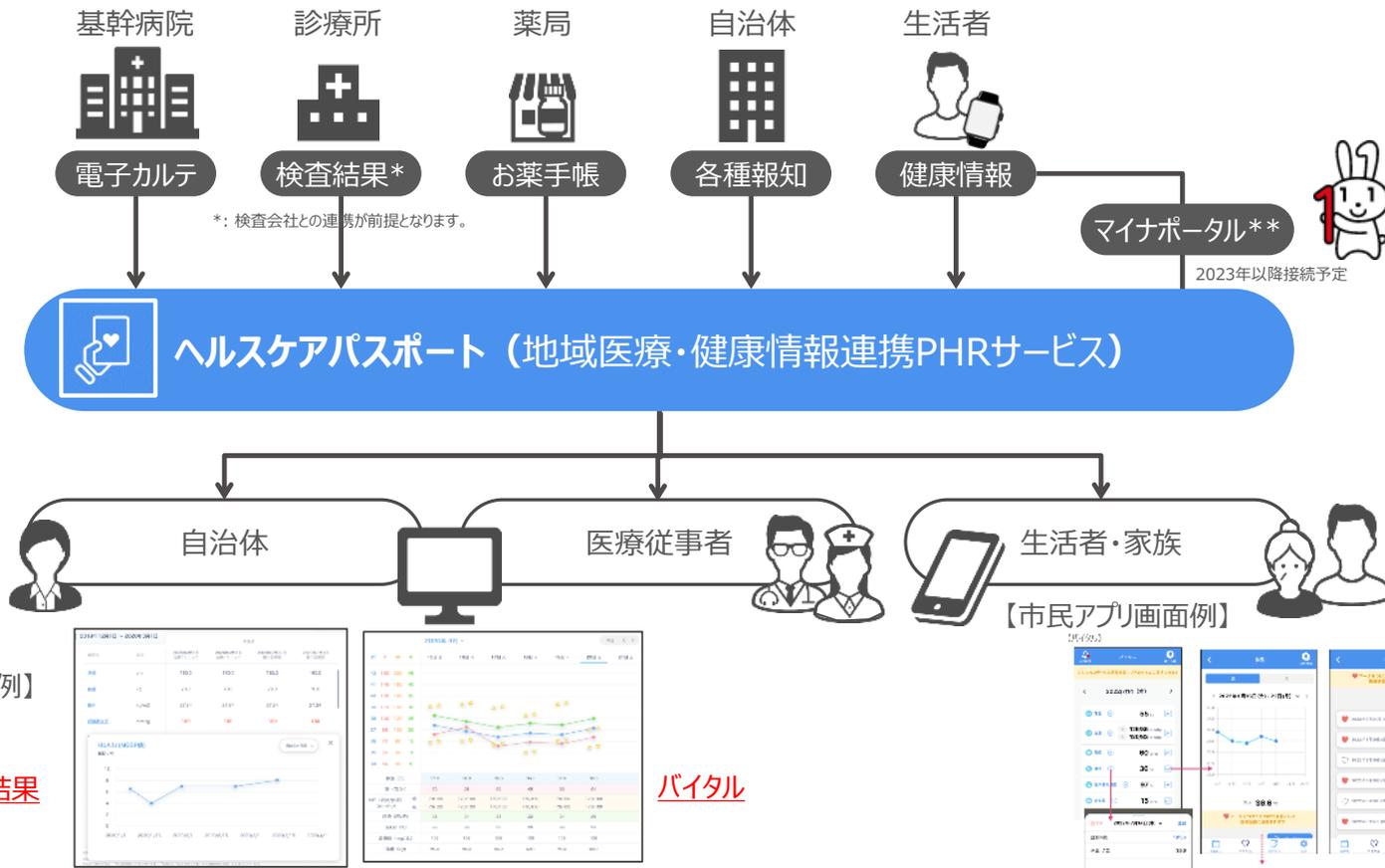
一生涯の健康・医療情報を個人(自分)で管理すること



市民の同意のもと、家族や医療従事者と情報共有することで
適切な医療の提供と生活者の健康増進を支えます

PHRを活用した医療情報連携の全体像

PHR化された健康・医療情報を、市民はアプリで、医療施設はWEB管理画面で閲覧・共有します



【医療従事者
ブラウザ画面例】

検査結果

バイタル

【市民アプリ画面例】

目の前の患者像を把握するための健康・医療に関する一通りの基本データが閲覧可能



基本情報

- 生活者ID
- 氏名
- 生年月日
- 性別

問診情報

- 飲酒習慣
- 喫煙習慣
- ジェネリック希望
- アレルギー
- 既往歴
- ペースメーカー
- 妊娠有無



診療情報

- 診療所名
- 診療科
- 診療医師名
- 検査有無
- 傷病名

その他

- 患者へのお知らせ
- 施設間連絡メモ
- 企業健診情報
など



処方情報

- 診療所名
- 診療科
- 診療医師名
- 薬品名
- 用法
- 処方期間



血液検査情報

- 検査日付
- 診療所名
- 検査結果
 - 検査項目
 - 検査値
 - 単位
 - 基準値範囲

医療保険情報

- 特定健診
- 薬剤情報

自己情報

- 予防接種
- 各種健診

2023年中にはマイナポータル接続により
共有可能予定



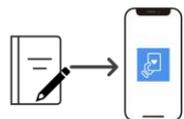
バイタル情報

- 身長・体重
- 体温
- 血圧
- 血糖値
- 呼吸数
- SpO2
- 脈拍 など

『ヘルスケアパスポート』導入事例

- ◆千葉大学医学部附属病院、兵庫医科大学ささやま医療センター、福島県会津若松市で運用される他、北信越地域某地域にて健診情報共有、東海地域某基幹病院にて導入準備中など、稼働地域拡大中。
- ◆千葉大学病院周辺/診療所・訪問診療施設・介護施設では、23年度中に10～15施設にて導入・運用開始予定。

千葉大学病院医学部附属病院 循環器内科



- ✓ 紙で記録していた毎日の記録を自動*で簡単にスマホ入力。
*アプリヘルスカアと連携した場合
- ✓ いつも飲んでいる薬の情報を確認できるため旅先でも安心。



ヘルスケアパスポートを導入することで
病院診療においても患者さんの日常生活と連携した
適切な心不全診療を行うことが可能になります。

心不全などの慢性疾患では、病院診療と患者の生活の持続的な情報共有が求められます。
ヘルスケアパスポートはそれを実現しヘルケアを実現できるもので、
患者と医療者が快適にコミュニケーションを図れる可能性が高いと期待しています。

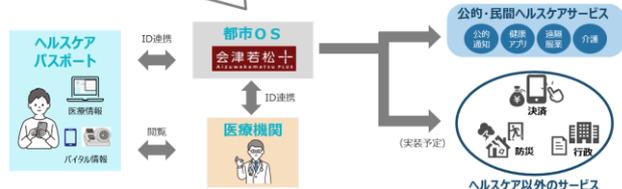
千葉大学医学部附属病院
医学研究院 循環器内科学
助教授 岡田 将氏

患者データのリアルタイム共有により、医師と患者の快適なコミュニケーションが可能になります

福島県会津若松市 都市OSとの連携

「データは市民のもの」という理念で
官民一体の「都市OS」を構築

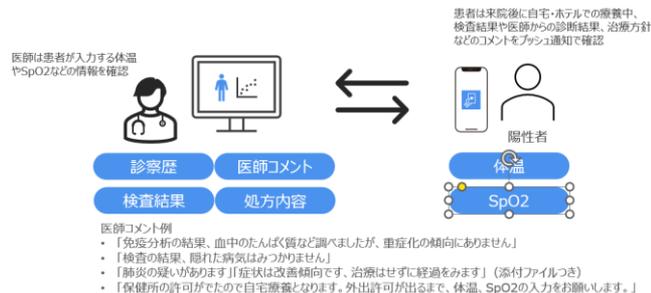
- ✓ヘルスケアサービス事業者とPHR連携することで、市民の健康増進に寄与。
- ✓他分野と連携し、メリットを享受できる地域を実現。



「健康・医療情報（PHR）は市民のもの」という考えのもと、ヘルスケアパスポートを使い自分の意志で医療機関へPHRを連携できる

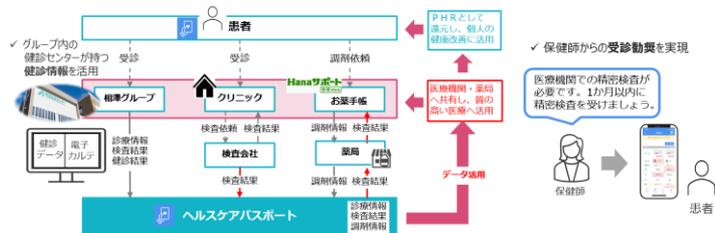
兵庫医科大学ささやま医療センター コロナ対応「新丹波方式」

アプリを活用した状況共有とコミュニケーションで陽性患者の治療をサポート



北信越某病院 「患者・病院・クリニック・調剤薬局・健診センター」連携

各機関から患者さんの同意を得てヘルスケアパスポートに集められた医療データは、①PHRとして患者に還元され、個人の健康改善に活用されます。また、②医療機関・薬局等へ共有され、質の高い医療提供へ活用されます。



君津市での活動

- ◆ K-SIP（君津ソーシャルイノベーションプラットフォーム） 先行実証 2022年
- ◆ デジタル田園都市国家構想交付金 採択 2023年

- ✓ 1.) 生活者向け プロモーション活動
 - 市施設、健康診査・検診会場での啓蒙啓発の実施
 - 広報誌での取り組み記事掲載の実施
 - 市HP等での取り組み掲載の実施

- ✓ 2.) 医療施設向け プロモーション活動
 - 診療所への活動紹介と啓蒙参加のご案内
 - 薬局への活動紹介と啓蒙参加のご案内
 - 基幹病院への活動紹介と啓蒙参加のご案内

- ✓ 3.) 運営体制 君津木更津医療圏団体へのご説明
 - 君津木更津医師会
 - 君津木更津薬剤師会
 - 君津木更津歯科医師会

- ✓ 4.) 運営体制 協業活性化活動
 - 検査会社（2社とパートナーシップ）
 - 医薬販売会社（1社とパートナーシップ）
 - 医事関連システム会社（1社とパートナーシップ）

参考:君津市ホームページ・広報誌



	マイナポータル	ヘルスケアパスポート
データ保管期間	有限：3～5年 情報によって保管期間が異なる	一生涯
データ反映タイミング	1カ月以上 情報によって反映タイミングが異なる	数日 電子カルテや検査会社から データ取得する場合
管理・活用のしやすさ	個人へのデータ還元が主 データの閲覧・活用には適していない	管理と活用ができる 自分の情報を自分で管理・活用できる

取得した健康・医療データを一生涯管理・活用できます

患者⇔医療施設

- ✓ 医療従事者は、患者が登録する**PHR**によりシームレスな状況把握ができます
- ✓ 患者は、病院での検査結果やお知らせを**スマホで確認**できます

地域医療連携

- ✓ 病院やクリニックでの**検査結果**や**お薬**の情報を各施設で閲覧できます
- ✓ **連絡メモ***を使って、施設間で連絡が取れます
- ✓ 患者の**PHR**や、**基幹病院外での医療情報**など、既存の地域医療連携ネットワークを補完する情報を共有できるため、初診でも患者像をつかみやすいです

病院⇔薬局

- ✓ 病院の処方情報や検査結果を薬局での**服薬指導へ活用**できます

住民⇔自治体

- ✓ **住民の健康増進**へ活用できます
- ✓ 自治体から住民への**アンケート***や**情報発信ツール**として活用できます

*2023年提供予定

参考) 自治体向け PHRサービス活用推進業務に関する委託一式

委託各項目	数量・期間	金額 (円)
生活者向けプロモーション活動費	対象 (自治体の人口を元に算出)	<p>各自治体様のご要望をお伺い致します。 ヒアリングと御打合せをご依頼ください。</p> <p>お見積りを発行致します。</p>
医療施設プロモーション活動費	対象 (自治体の施設数を元に算出) 病院、診療所、薬局、歯医者、介護施設	
PHR情報閲覧・お知らせサービス利用料	実施期間：契約開始日より1年間 以降の更新に関して別途ご発注	
プロジェクト管理費	実施期間：契約開始日より1年間 以降の更新に関して別途ご発注	
開発業務一式	企画～実装完了 仕様書作成の後、決定	

APPENDIX

患者様アプリへの検査値反映の流れ

以下、汎用的な対応他業者も同形式を想定しています。

■ 施設連携されている患者様

■ 4項目を入力して検査依頼

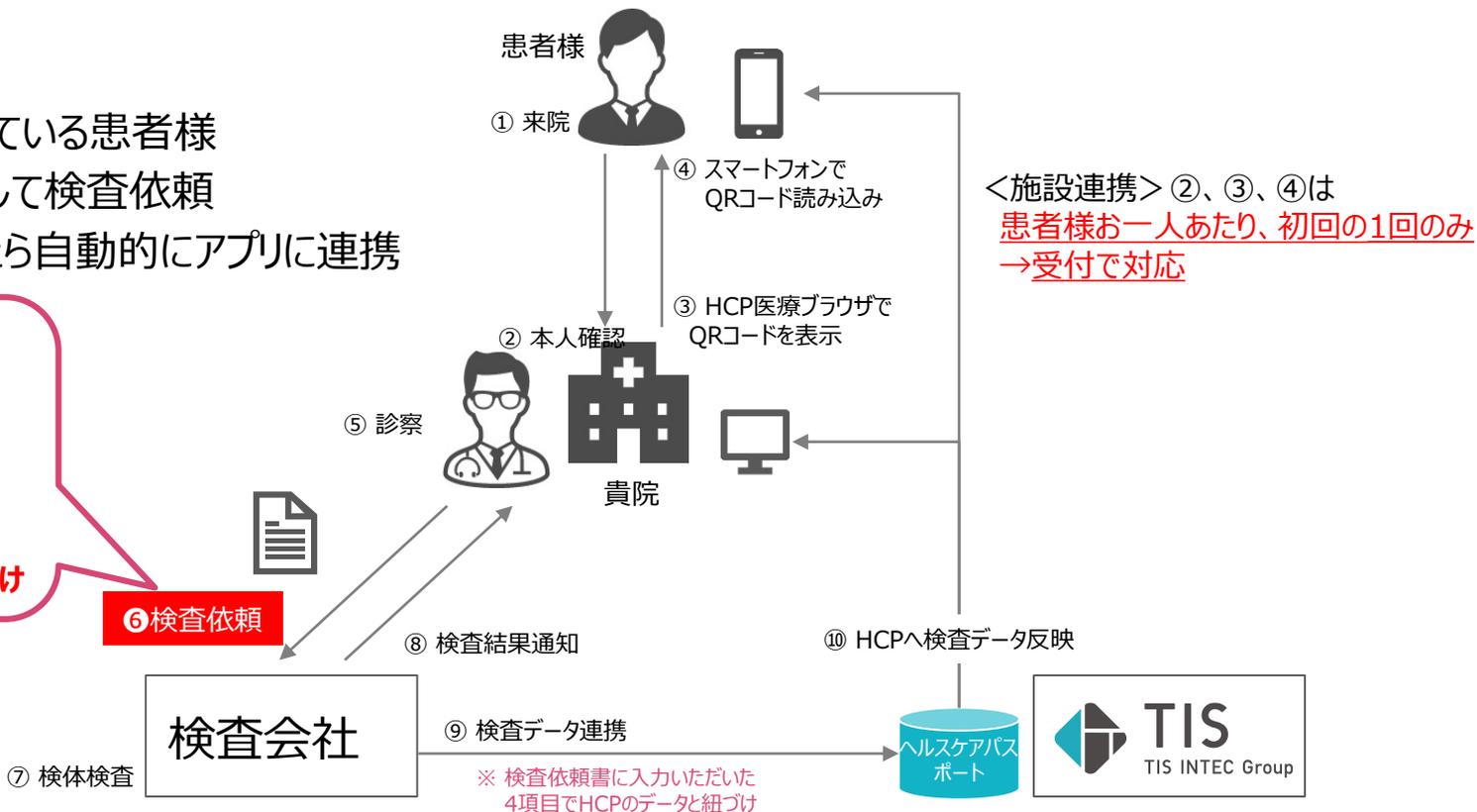
↳ 結果が出たら自動的にアプリに連携

<先生の作業>

- ① 患者ID
- ② カナ氏名
- ③ 生年月日
- ④ 性別

を入力して依頼するだけ

⑥ 検査依頼



ヘルスケアパスポートの紹介ページ



ヘルスケアパスポート サービス紹介ページ
https://www.tis.jp/service_solution/healthcare-passport/



ヘルスケアパスポート サービス紹介VTR
https://youtu.be/KP2YV_ClcaU



ヘルスケアパスポート サービス開始ニュースリリース 2020/9/23
 TIS、クラウド型地域医療情報連携サービス「ヘルスケアパスポート」を提供開始
https://www.tis.co.jp/news/2020/tis_news/20200923_1.html



2021/2/24 地域包括ケアEXPO セミナー〈特別講演〉
 ICTで実現する地域医療連携 ～持続可能な地域包括ケアに向けて～
<https://reed-speaker.jp/Seminar/20210224medi/top/#CC-K>



ITで、社会の願い叶えよう。



TIS INTEC Group

<本資料に関するお問い合わせ >

TIS株式会社

DXビジネスユニット ヘルスケアサービスユニット ヘルスケアサービス企画部

E-Mail : healthcare-passport@ml.tis.co.jp

サービスの概要と雑誌掲載記事をご紹介します。https://www.tis.jp/service_solution/healthcare-passport/



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。